

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホーム いしき
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷台四丁目34番50号 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	令和4年11月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年11月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・季節ごとの行事(花見、コスモス見学など)や時節行事(ひな祭り、母の日、父の日など)を大事にしている。
- ・毎月の壁画作成で、季節を感じさせる工夫を行っている。
- ・職員間の報連相やコミュニケーションが取れており、利用者様の状態を各職員しっかり把握している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同法人の関連施設である介護付き有料老人ホーム、企業主導型保育所に隣接しており、防災訓練は自動通報装置で隣接の有料法人ホームに連動し協力体制を構築している。
- ・コロナ禍でボランティアの受け入れや地域交流は自粛しているが、関連施設の保育園児と散歩時のあいさつや敬老会ではプレゼントを頂いたり、ハロウィンでは仮装しての訪問を利用者も仮装して出迎える等、楽しく交流している。
- ・理事長や管理者は職員との意見交換を行い、働きやすい環境作りを心がけている。
- ・リビングは床暖房でオゾン発生器を設置し、除菌や脱臭効果があり、清潔な環境で居心地よく過ごせる環境となっている。また、各居室にもオゾン発生器を設置している。
- ・コロナ感染対策としてビデオ学習を実施し、全職員の周知を図り防護服など必要物品を準備している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼で職員は理念を唱和し、少しでも近づけるよう工夫している。	グループホーム独自の理念を毎朝礼時に唱和し、毎月の行事後やミーティングで振り返り、理念に沿ったケア実践に繋がるよう工夫している。理念は事務所に掲示しパンフレットやいしき通信にも掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍の中では、なかなか難しい。	地域行事は自粛している。同敷地内の保育園児との挨拶や敬老会・ハロウィンで訪問があり、利用者も仮装して楽しんだり、焼き芋パーティに参加する等の交流をしている。地域から認知症に関する相談が有り、交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の中では、なかなか難しい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の中では、なかなか難しい。	運営推進会議は定期的に開催し、利用者状況・行事報告・事故、ヒヤリハット・外部評価調査結果報告等を行い、意見や情報を貰いサービス向上に活かせるようにしている。コロナ感染減少時は、地域代表の参加がある。書面開催時もある。会議録は常に玄関に置き開示している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターとは、運営推進会議にて情報交換を行っている。</p>	<p>市担当者とは申請や更新・困難事例の相談を窓口や電話で指導や助言を貰う等、日頃から協力関係を築いている。地域包括支援センターとは常に情報交換している。市主催の研修にはリモートで参加し、職員にも報告書で伝達している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月の全体会議の中で、情報の共有を行い、評価を行いながら、意見を出し合っている。</p>	<p>マニュアルを基本に、年2回法人全体の研修会があり参加している。各ユニットでも研修を行い意見交換し、身体拘束や虐待のないケアに取り組んでいる。危険リスクの高い利用者に家族の了解を得て、ベッドに2点柵や人感センサーを活用し、ミーティングで具体的行動など時間や状況を記録している。帰宅願望が強い場合は利用者の話を傾聴したり、個々に応じて家族と電話で話す等の安定後、散歩に出かける支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年2回の研修を行いながら対応している。入居者様の身体の変化に注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>踏み込んだ研修等はないが、その都度話を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時、時間を設けて行っており、ご家族様の意見などを聞き、署名をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>外部者へは表してはいないが、職員には随時伝えている。</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で、家族からはマイク通信での窓越し面会、ラインやメールで利用者の状況を報告し意見や要望を聞く機会を設けている。誕生日の様子の写真や毎月の「いしき通信」で個別の生活状況と医療連携状況の欄に記入し意見や要望を聞き、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>特別な機会は設けていないが、随時行っている。また代表者等には管理者より伝えている。</p>	<p>理事長参加で法人全体会議が月1回とユニット毎で職員の意見やラインなどで相談や提案を聞いている。管理者は職員が日々意見や提案を言えるように環境作りをしている。年2回自己評価があり、必要があれば面談している。意見を反映し、ユニット間の移動や働き易い環境作りを心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課を行い、それに基づき検討している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修として介護に携わる最低限の研修を行い、その都度対応している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍の中では、なかなか難しい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人とよく接し、会話をしていく中で、思いをくみ取り対応している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族への対応は、入居時より細かく伝えたりしており、少しずつ良い方向へ行くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	モニタリングからのスタートで必要なサービスを、ケアプランを通じて行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各者に職員担当をつけ、しっかりと情報共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	窓越し面会時や月1回のいしき通信などで、各人の様子を伝えている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	コロナ禍で難しい。	窓越し面会やアイパットでのリモート面会、ラインやメール・通信で写真添付等、家族と利用者との交流ができるよう工夫し、手紙等の取次支援もしている。2ヶ月毎に訪問理美容師からの支援をしている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	気の合う方同士のコミュニケーションが図れるよう、橋渡しは常に行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	終了後が心配な方とは、やり取りを行うこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知で理解力が低下している方は厳しいが、理解力のある方に対しては希望をできるだけ聞いている。	日々の生活の中で、特にお茶の時間や入浴・就寝介助時に思いや意向を把握している。困難な場合は表情や言動の変化・食欲低下・落ち着かない動作等から生活歴を基本に意見交換し、必要時は家族との情報を得て本人の希望に添うよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	皆様が毎日同じ状態で過ごすことはまれである。その日の状況に合わせた対応を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を更新ごとに開示し、理解してもらい、評価時など関係者に意見を求めている。	本人や家族の意向を聞き、主治医の意見や業務日誌をもとに、担当者会議を開催し、利用者の趣味や身体能力を活かせるような介護計画を作成し、モニタリングを3ヶ月ごとに行い、6ヶ月で見直しをしている。必要時はその都度見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録への記入は若干欠けているところもあるが、朝夕の申し送りや、申し送りノートの活用で、情報交換は行えている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の思いがなかなか伝わらないことが多いので、厳しい。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関わりは難しい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ことあるごとの情報を上申し、常にかかりつけ医とはやり取りしている。	本人や家族の希望を大切に、入所前のかかりつけ医の継続や協力医療機関が主治医となっている。隔週毎の訪問診療と常勤看護師による健康管理で常時連絡・相談する等の関係性を築いている。歯科の往診や他科受診は職員同伴の支援をし、適切な医療が受けられるよう支援している。夜間は連絡体制に基づき主治医の指示で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員はもちろん、管理者へも情報提供は行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	基本情報・看護サマリーを提示し、やり取りしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に書類を渡している。	入居時に「看取りに関する指針」「事前意思確認書」を説明し同意書を貰っている。重度化した場合は主治医から段階的に家族に説明を行い、家族間で話し合ってもらい、方向性を共有し支援している。看取りケア時は感染対策を徹底し簡易ベットを準備し、チームで取り組み支援している。看取りの実績がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故報告・ヒヤリハットを用いて対策等を考えている。一部の職員が応急手当の対応はできる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施。昼間対応・夜間対応で各1回ずつ行っている。地域とはなかなか難しいが、近隣住民は協力してもらえそう。</p>	<p>年2回、分遣隊の立会で昼夜想定 の避難訓練、消火器取り扱い、 風水害についての話し合いを行 ない記録している。自動火災報 知機で各施設に通報できるシス テムで協力体制を構築してい る。防災機器は業者に依頼し定 期的に点検している。避難場所 としてテラスや駐車場で、状況 にて変更する。備蓄として水・ レトルト食品・ラーメン・菓子 等、約2週間分準備している。ラ ジオやカセットコンロ・ヘル メットを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>その方その方へあった言葉かけ、また冗談を言うときとそうでないときの対応は行っている。</p>	<p>人権やプライバシー・接遇について勉強会を実施している。丁寧な言葉遣いを心がけ対応している。難聴がある場合もその人に応じて声かけしている。呼称は苗字で呼んでいる。排泄や入浴時は羞恥心に配慮した対応で、排泄時はドアの外で待機する等、利用者の特性を把握し支援している。二者択一で自己決定できる支援を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>一通り、本人への確認は行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>9名の方々が個々で生活するには支援の手が足りない。理解できる方は自分のペースで動いておられる。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>身だしなみは職員全体でさせてもらっているが、おしゃれの支援は難しい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在一緒に作業というのは、車椅子や介護度の高い方が多いので難しい。好みの食べ物は尋ねているので、誕生日には好物を提供している。	献立は職員が利用者の嗜好を把握し調理している。食形態は普通食や刻み・ミキサー食で提供している。食材はネットスーパーを活用し、行事食や誕生日はちらし寿司や好きな物を提供し、手作りケーキで、皆でお祝いしている。テラスでお茶やおやつを食べながらおしゃべりし楽しい時間を作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回記録に残し、それぞれの状態に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員が確認している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排せつの記録を行い、対応している。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、個々の時間帯に応じて声かけし、日中はトイレ誘導したり見守りで排泄支援をしている。排泄用品は利用者の排泄状況に応じて使い分けている。利用者から職員に声掛けもあり、自立に向けた支援に繋がっている。便秘に対してはバナナやヨーグルト・緩下剤使用で排泄支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や、それぞれに対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回、決まった曜日にしか支援できていない。	入浴は週2～3回、午前中の支援であるが状況で時間帯は変更し1:1や1:2で介助し、同性介助支援もしている。保湿や保温効果目的でバスソルト使用や季節の菖蒲湯で楽しんでいる。状態に応じて陰部や頭部等の部分清浄や全身清拭の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合った午睡、就寝時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解している職員もいるが、なかなか全員とまではっていない。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る方への簡単な家事手伝いやレクリエーション等での支援。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で今は厳しいが、ちょっとした散歩などは行えている。</p>	<p>年間計画は作成しているが、コロナ禍で外出支援は自粛している。日常的にホーム周辺の散歩やユニット別に車で菜の花やコスモス見物に出かけたり、初詣に出かける等、外出支援している。職員手作りの神社で室内で賽銭箱も準備し参拝している。園庭の桜をバックに記念撮影する等、全員が楽しめるよう工夫している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金管理は、全て家族対応となっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話がかかってくる、かけたりとする支援。手紙は届くことが多い。年賀状は毎年送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度・湿度管理は行えており、季節感についてはそれに見合ったものを飾っている。</p>	<p>リビングは床暖房完備で温かく、温度・湿度はエアコンで調整している。オゾン発生器があり消臭・除菌の抑制効果があり、清潔で過ごしやすい環境となっている。壁には季節ごとの壁画、イベントの写真、塗り絵など利用者の作品を掲示し、足を伸ばせる和室もあり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人になれるスペースはないが、利用者同士でのコミュニケーションは取れている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物の持込をしてもらったりしているが、本人が使いこなせていない。</p>	<p>居室はフローリングでギャッジベッドやタンス・エアコン・オゾン発生器を設置し、寝具類は持ち込みやリースである。使い慣れたテーブルや椅子、テレビ、壁ハンガー、孫や家族の写真等を飾っている。居室入口には季節の飾り物が有り、それぞれ利用者は清潔な居室で居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その時その時の状態、入居者様の状態に合わせている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない